自分に誇りをもち　親に誇りをもち　祖国日本に誇りをもつ　青少年を育成する

責任編集
公益財団法人 新教育者連盟

生命の教育

「生命の教育哲学」創始者　谷口雅春先生御揮毫

令和 6 年 5 月号

もくじ

巻頭のことば　新教育者連盟理事長 代田健藏
ずるいことをして校長の職を失った教育者

特集　子供の問題は親も子も伸びるチャンス

5　子供を生かしているのは見えない神の力　谷口雅春
8　どんな問題も夫婦円満の糧にする　岡村邦子
10　お互いの光を輝かせるチャンスを作ってくれます　長嶺多津枝
12　キャプテン　沼田真弓
14　親子の絆を強くさせてくれる出来事　小山玲子
15　わが子の体験から親も学ぶ　中条てる子

18　《シリーズ》生命の教育テーマ学習「子供の善性を引き出す『心の法則』と『言葉の力』」
(公財)新教育者連盟特任講師　杉山紀代子

17　子育てワンポイント(83)　あいさつをする　出口正博
20　子育てQ＆A　真面目な高校生活を送って欲しい息子　大原和子
部活のサッカーで仲間外れにされた息子　小林義典
人の気持ちを察することができない息子　嶺　敏子
入学早々に自信をなくした高校１年の息子　鎌倉弘行
積極性に欠けるひとり息子を変えたい　執行ひろみ
25　子育ては母育て(138)　いろいろな症状の受けとめ方③　田下昌明
26　世界がおどろく日本の魅力(39)　唱歌は世界に誇りうる日本独自な文化　井上雅夫
27　日本国憲法の問題点(103)　安倍元首相の不在と憲法改正の急務　勝岡寛次
日本のしきたり(77)　「小満」　辻川牧子
28　親子で読むものがたり(140)　いつも正直でいましょう　南　敏雄
30　広がる仲間の輪――喜びの声――　長野支部「幼な児に真理の言葉を続けて」
31　新教連活動あらかると
◇ 新教連全国研修会の案内、一通の喜びの手紙、名刺広告の案内、
新教連教育アドバイザー養成課程の案内 ほか
◇ ５月の支部行事
34　事務局短信・編集後記・次号案内

ずるいことをして校長の職を失った教育者
――公明正大な生き方こそ日本人の生き方

公益財団法人
新教育者連盟理事長
代田健藏

ひと月程前の新聞に次のようなニュースが報じられていました。

「某中学校の校長先生がコンビニでコーヒーを買うとき、レギュラーサイズのコーヒーを注文し、レギュラー分の代金を払ったのにも拘わらず、販売機のボタンを押すときは、Ｌサイズのボタンを押していたというのです。それが常習になっていて、それを店員に指摘され、遂に警察に逮捕され、校長も免職になったというのです。

僅かばかりのコーヒーを誤魔化したために、多額の給料も退職金も名誉も霧消してしまったとのことで、新聞には愚かなことと揶揄されていました。

多額の退職金が消え、校長の立場を失ったことは残念なことですが、もともと教育者としてどのような心構えで教職に就いていたのでしょうか。悪事も見つかりさえしなければそれでよいと思っていたのでしょうか。

昔から「渇しても盗泉の水を飲まず」という戒めの言葉があります。

どんなに喉が渇いても「盗泉」と名のついた泉の水は飲まないとか、「李下に冠を正さず」[*1]「瓜田に沓を入れず」[*2]等の戒めの言葉を日本人は大切に守ってきました。

本誌の姉妹誌『生命の子供』４月号には、吉田松陰先生の「学は、人たる所以を学ぶなり」とありますが、学問や勉強というものは、単に理屈を覚え、知識を増やし、相手を言い負かすためのものではなく、人間の尊さや立派な生き方を学ぶことにあると松陰先生は仰っているのです。

＊１　李(すもも木)の下で、帽子の被り方を直すと、木の実を帽子の中に隠したとの疑いを受けるので、疑わしいことはするなの意味

＊２　瓜畑で靴紐を結び直そうと腰をかがめると、瓜を盗もうとしたと疑われ易いので、疑わしいことはするなの意味

生命の教育　七つの心得

一、子供に宿る善性を信じ、
これを引き出し伸ばし、
育てます。

二、どの子の個性も尊重し、
この世に生まれた使命を
生かします。

三、よい習慣をしつづけて、
正しいしつけといたします。

四、問題の子供は心の病気、
実は優秀児の仮の姿と、
観方を一転します。

五、親が変われば子が変わる。
何よりもまず
明るい家庭をつくります。

六、いつもニコニコ、やさしいコトバ、
認めてほめて、たたえます。

七、花咲くことを疑わず、
信じて気ながに
育てます。